

めざす姿2：男女が互いに尊重し暴力のない社会

配偶者等からの暴力をはじめとしたすべての暴力は重大な人権侵害であり決して許されるものではないという認識を深め、男女が互いに人権を尊重し、暴力のない社会をめざします。

重点課題3 配偶者等からのあらゆる暴力の根絶							
指標		平成24年度 (策定当初)	平成29年度 (中間)	現状値(最終) (令和5年度)	目標値	評価	評価に関する市の考え
5	配偶者等から何度も暴力を受けたことがある人の割合	20.9% (※1)	21.2% (※2)	10.8% (※3)	0%	B	目標値には達していないが、現状値が約半分まで減少しているため
6	配偶者等から一、二度暴力を受けたことがある人の割合	30.4% (※1)	28.8% (※2)	9.3% (※3)	0%	B	目標値には達していないが、現状値が大幅に減少しているため

※1 男女共同参画に関する市民意識・実態調査(平成24年度)

※2 男女共同参画に関する市民意識・実態調査(平成29年度)

※3 市公式LINEにより実施した男女共同参画に関するアンケート調査(令和6年6月)

重点課題4 困難な状況に置かれている方が安心して暮らせる環境づくり							
指標		平成24年度 (策定当初)	平成29年度 (中間)	現状値(最終) (令和5年度)	目標値	評価	評価に関する市の考え
7	セクシュアル・ハラスメントの被害経験者の割合	8.0% (※1)	7.7% (※2)	36.0% (※3)	0%	C	セクシュアル・ハラスメントの認識が変化していることも聞こえているが、現状値が大幅に増加したため

※1 男女共同参画に関する市民意識・実態調査(平成24年度)

※2 男女共同参画に関する市民意識・実態調査(平成29年度)

※3 市公式LINEにより実施した男女共同参画に関するアンケート調査(令和6年6月)

重点課題5 生涯にわたる性と生殖に関する健康と権利（リプロダクティブ・ヘルス/ライツ）の確立

指標		平成24年度 (策定当初)	平成29年度 (中間)	現状値(最終) (令和5年度)	目標値	評価	評価に関する市の考え
8	「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」という言葉の認知度	2.6% (※1)	2.6% (※2)	19.5% (※3)	10%	B	現状値が目標値を超え、良好に進捗しているが、まだ周知の必要性はあるため
9	乳がん検診の受診率	30.2% (※4)	48.1% (※5)	46.4% (※6)	50% 以上	B	目標値には達していないが、新型コロナの影響で受診控えがありながらも徐々に増加してきているため
10	子宮頸がん検診の受診率	35.0% (※4)	40.7% (※5)	38.6% (※6)	50% 以上	B	目標値には達していないが、新型コロナの影響で受診控えがありながらも徐々に増加してきているため

- ※1 男女共同参画に関する市民意識・実態調査（平成24年度）
- ※2 男女共同参画に関する市民意識・実態調査（平成29年度）
- ※3 市公式LINEにより実施した男女共同参画に関するアンケート調査（令和6年6月）
- ※4 平成22年度八王子市がん予防・がん検診に関する調査（40歳～69歳のデータを分析）
- ※5 平成28年度八王子市がん予防・がん検診に関する調査（40歳～69歳のデータを分析）
- ※6 令和5年度八王子市がん予防・がん検診に関する調査（40歳～69歳のデータを分析）

男女共同参画の推進

指標		平成24年度	平成29年度	現状値 (令和5年度)	目標値	評価	評価に関する市の考え
16	「男女共同参画」という言葉の認知度	48.9% (※1)	55.1% (※2)	82.7% (※3)	80%	A	現状値が目標値を超え、大幅に増加したため
17	「男女共同参画センター」を知っている人の割合	16.5% (※1)	17.8% (※2)	30.3% (※3)	40%	B	現状値は目標値には達していないが、順調に増加しているため

- ※1 男女共同参画に関する市民意識・実態調査（平成24年度）
- ※2 男女共同参画に関する市民意識・実態調査（平成29年度）
- ※3 LINEにより実施した男女共同参画に関するアンケート調査（令和6年6月）